



←タカベは沖の潮目などにも群れ、オヤビッチャは際寄りなどに居た



↑磯に残っていたウロコは、クロらしく端が黒い

「クロの動向」

今季のクロは、例年より「釣れが悪い」とか「型が小さい」さらに「渡りが少ない」などと、よく耳にしています。実際、甌島とか、大隅半島に行っても、「ウーンもう少し」型が良ければ、数が出ればと、よく思います。原因としては、水温が少し高めで推移していること。これが一番で、いまだにダツが、ウキが着水と同時にツケエサを引っ張って行ったり、エサ盗りやユグロ（20cm前後）が多かったり、イスズミだらけだったり、釣り人を悩ませます。

それと、もう一つ、去年の黒潮の大蛇行の影響もあって、渡りグロ、浮きグロが少なく、群れが小さい等々もあるのかなと思います。でもクロが少なく、小さいと言っても、クロは居ます。そのクロをどうやって釣って行くかを少し私なりに考えてみようと思います。

「釣り場選び」

寒グロの季節、釣り場選びはどこでもいいと思います。ただ、天気予報を見て、風向きだけはしっかり押さえておく必要があると思います。例えば、北西とか、西寄りの風だったら、東岸の磯を選ぶと、シケることとはいいです。逆に東寄りの風の時は、西岸の磯。南の強風時は、北岸の磯が数えるほどしかない南九州エリアは、お休みした方が安全です。私の場合、風向きと風速を見て、

磯場を探して潮時表をチェックして、釣り場（磯の瀬）を決めるようにしています。

「大隅半島・船間」

平成30年最後の12月31日に、鹿児島県の大隅半島の「船間」に寒グロを狙いに行つて来ました。磯上がりしたのは、「瀬の上」で、少々シケでも安全で大きい磯です。10人以上は釣り人が乗れると思います。

今回は、海から見て真ん中に1組、右側に1組、そして私たちが左側に降ります。ただ正直なところ、私は大きな磯は苦手です。それは釣り場をしばらくのんびりと、大きくて安全な磯は常に釣り人が上がっている、エサ盗りが多い・クロがスレている等の理由ですが、船長の指示なの

に加工したオキアミを2種類とボイル小々で、状況に合わせて使用しています。付けエサは何種類かあると心強いですが、配合エサは、マルキューの新製品「グレパワーVSP」、グレパワーV10SP、遠投ふかせスベシャルを各1袋ずつ準備しています。V

SPは、簡単に言うとなV9とV10、V11のいいとこ取りで、トーナメント対応モデルで、いろいろな組み合わせが出来るベースエサです。V10SPは、白系のニゴリとフエロモン系で、先打ちマキエで、マキエの位置、潮の流れをしっかりと釣り人に教えてくれます。遠投ふかせスベシャルは、マイブームで好んで使っていますが、遠投はもちろん、集魚力もあり、ゆっくりスロープ状に沈下するので、クロを浮かせやすいと考

えています。これらを半袋ずつと、オキアミ生1.5角を混ぜてやや固めに仕上げます。

識させます。私は、このようなことを考えながら、マキエサを仕上げています。ただ単にマキエサを作るのではなく、作戦を練りながら、マキエサ作りをすることで、仕掛け作りや、釣り座決めにも役立って来ると

「釣り座決め」

AとBは、他の組が乗っていて使えるのはCDEです。今日の潮は長潮で朝7時半ぐらいが最干潮でそれから満潮の14時まで上げ潮を釣ります。回収の時間が15時なので、ほぼ上げ潮を釣る感じです。

そこで、まずDに入り上げ潮の動き出しを釣ることにします。足元とやや沖側とマキエサを入れて潮の流れを確認すると、ゆっくり右に流れています。エサ盗りは見えません。5分ほどマキエサを入れた後に、仕掛けを入れます。仕掛け図を参照して下さい。

「実釣」

足元のサラシを利用して、沖の潮すじに仕掛けを運んでアタリを取るのですが、エサ盗りだらけです。どうやら、沖の波の静かな所にマキエサがたまり、そこにエサ盗りがびっしりいる感じです。そこで、今度は、足元を釣ってみますが、足元もやはりエサ盗り。とりあえず、マキエサを打ちながら沖、手前と釣ること1時間。さすがに「もう無理」。そこで、釣り座をEにかえ、足元にマキエサを入れ、沖を流してみます

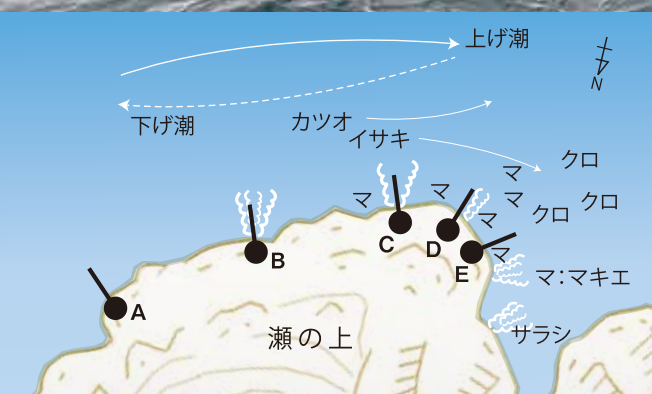
寒グロゼットの道

が、こもエサ盗りだらけです。

沖がダメなら手前をと思い、サラシがおさまるタイミングを見て、足元に仕掛けを入れれゆっくり沖に流れる潮に仕掛けを張りながら入れてみると、いきなりヒット！慎重に取り込んだのは、真つ黒な魚体で、体高があつて幅のある40cmぐらいの地グロ。これは嬉しい

です。今回は、エサ盗りだらけできびしいかなと思っていただけに価値のあるクロです。この時の仕掛けは、ウキをBから3Bに変えて、タナは竿1本半弱。

その後、同サイズを追加しますが、ウネリが出だして、足元のサラシがきつくなつて来たところで、再度沖を狙つてみると、沖でもクロが掛かつて、これ



南のつりアドバイザー 野間辰美



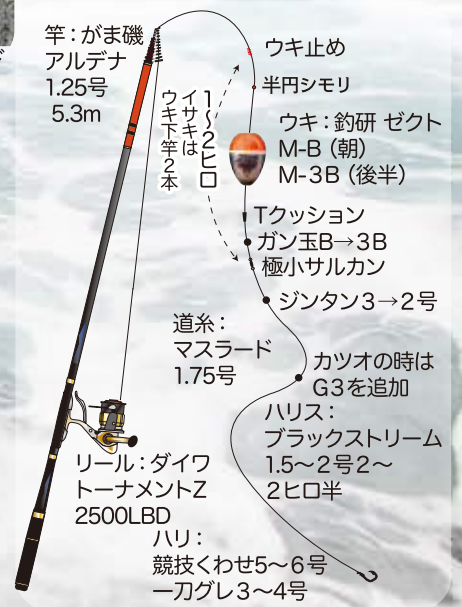
↑マルキューの各配合エサにより、クロを集めながら上層に浮かせる役目も持たせた



↑新製品の道糸マスラードは、しなやかで強い！



▶最後にオキアミ生を1/4ほど載せてデリシヤに出来上がり!!



↑ゼクト3Bで荒れ気味の状況にマッチさせた！